

沖縄県の特別支援教育の現状

沖縄県特別支援学校教育研究会
 会長 岡越 猛
 沖縄県立名護特別支援学校校長

1 特別支援学校・特別支援学級等の設置状況

(1) 特別支援学校の概要

沖縄県内の特別支援学校は、知的障害 14 校（うち四肢併置 1 校・知肢病併置 1 校・高等支援学校 5 校、全障害種 3 校、分教室 4 教室）、肢体不自由 5 校（うち肢病併置 2・分校 1 校）、病弱 1 校、盲学校 1 校、ろう学校 1 校の計 22 校がある。（令和 5 年 5 月 1 日現在）

区分	学校数	幼稚部		小学部		中学部		高等部				合計	
		学級数	幼児数	学級数	児童数	学級数	生徒数	本科		専攻科		学級数	幼児児童生徒数
								学級数	生徒数	学級数	生徒数		
視覚障害	4	1	3	5	7	4	2	5	14	6	17	19	45
聴覚障害	4	2	9	6	9	4	7	4	9			16	34
知的障害	14			197	749	115	441	176	988			493	2,196
肢体不自由	5	5	18	40	112	27	63	34	77			101	252
病弱	1			1	3	5	10	3	6			9	19
総計	22	8	30	249	880	153	525	222	1,094	6	17	638	2,546

(2) 特別支援学級の概要（令和 5 年 5 月 1 日現在速報値）

障害種	学級数			児童生徒数		
	小学校	中学校	総計	小学校	中学校	総計
知的障害	406	191	597	2,382	1,021	3,403
病弱・身体虚弱	50	19	69	64	25	89
弱視	2	2	4	2	2	4
難聴	24	9	33	26	9	35
言語障害	61	7	68	170	7	177
情緒障害	629	246	875	4,122	1,523	5,645
肢体不自由	53	26	79	63	15	78
合計	1,225	487	1,712	6,829	2,602	9,431

2 特別支援教育に関する施策

「沖縄県特別支援教育推進計画」（令和 4 年～令和 13 年度）

1 障害のある幼児児童生徒の学びの場の整備・連携強化

- (1) 就学前における早期からの相談・支援の充実 (2) 就学相談や学びの場の検討等の支援
 (3) 小中学校における障害のある児童生徒の学びの充実 (4) 高等学校における学びの場の充実
 (5) 特別支援学校における教育環境の整備委 (6) 交流及び共同学習の推進

2 特別支援教育を担う教師の専門性向上

- (1) 全ての教師に求められる特別支援教育に関する専門性
 (2) 特別支援学級、通級による指導を担当する教師に求められる専門性
 (3) 特別支援学校の教員に求められる専門性

3 ICT活用等による特別支援教育の質の向上

- (1)ICT活用による一人一人の教育的ニーズに応じた支援の推進
- (2)教員の情報活用能力の向上と校務のICT化

4 関係機関の連携強化による切れ目ない支援の充実

- (1)就学前からの連携・在学中の連携 (2)在学中の連携 (3)卒業後の連携
- (4)医療的ケアが必要な幼児児童生徒（医療的ケア児）への対応
- (5)障害のある外国人幼児児童生徒への対応
- (6)関係機関等との連携強化による支援体制の整備と施策の推進

3 研究会の活動状況

(1) 会の目的

沖縄県特別支援教育研究会（沖特研）は、特別な教育的支援を必要とする知的障害のある幼児・児童・生徒の教育の発展と、実践研究の推進に寄与することを目的としている。

(2) 沿革

沖特研は、昭和40年6月に「沖縄県特殊教育研究会」として設立された。平成14年度に会の名称を「沖縄県特別支援教育研究会」に変更し、令和5年現在では沖縄本島と宮古・八重山地方などの離島地域を含め、知的障害特別支援学級を設置する小・中学校8支部（地区の研究会を含む）と特別支援学校（高等特別支援学校を含む）14支部で組織されている。

(3) 昨年度の活動

昨年度の沖特研研究大会は九特連研究大会〈沖縄大会〉と同時開催であり、研究主題を「新しい時代に生きる力を育む特別支援教育の展開～一貫性・系統性のある学びの保障をめざして～」として開催した。また、全ての事業をオンライン型で行い、コロナ禍における会員の研修機会の保障だけでなく、とりわけ離島・北部地区の会員にとっては機会保障となった。

(4) 今年度の事業計画

日にち	内容	研修
6/22(木)	沖特研 第1回評議員会	研修会①「沖縄市における就学支援の取り組みと課題」
7/28(金)	沖特研 令和5年度総会	研修会②「記念講演:これからの特別支援教育の動向」 講師:加藤 宏昭氏 (文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官)
10/13(金)	沖特研 第2回評議員会	研修会③「障害の特性理解について(仮)」
11/10(金)	分科会関係者会	研修会④「本人が求める支援・支援の在り方について(仮)」
12/15(金)	第51回 沖縄県特別支援教育研究会 研究大会 【大会主題】沖縄県における持続可能な特別支援教育の質の向上を目指して ～知的障害児の各教科等を通した多様な学びの保障～ ・記念講演「演題未定」 講師:三浦 光哉氏(山形大学教職大学院教育実践研究科 教授) ・沖縄県立名護特別支援学校 公開授業 ・分科会(計7分科会)	
2/22(木)	沖特研 第3回評議員会	研修会⑤「自己選択・自己決定について(仮)」

※今年度は基本的には参集型で行い、事業によってはオンラインとのハイブリッド開催で行う。

4 課題

- (1) 昨年度・一昨年度と全ての活動がオンライン開催となり会員が参集しての研修会が実施できていない。今年度はそれぞれの開催方法のメリット、デメリットを踏まえて参集型に戻すか、オンラインとのハイブリッド型にするか検討する必要がある。
- (2) コロナ以前、コロナ禍で取り組んできた本研究会運営を踏まえて、持続可能な研究会運営にするため、研究会の体制整備（組織構築）、運営費（予算案等）の見直しが必要である。